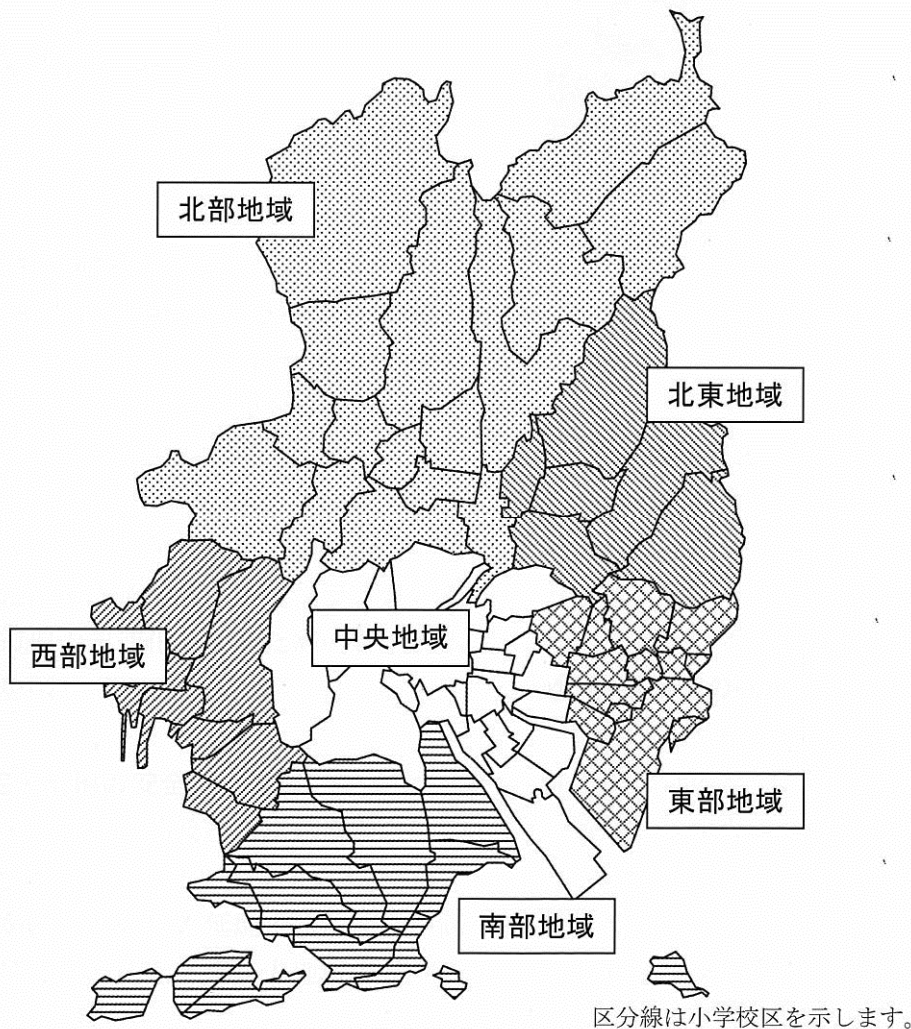


第IV章 地域別方針

1.地域区分

歴史的な沿革，地理的条件及び地域の生活圏などを考慮し，福山市都市マスタープラン※とも整合を図り，次のとおり6地域に区分します。

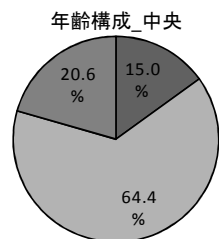
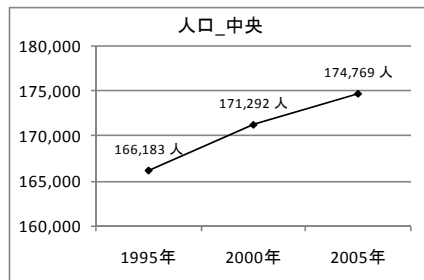


地域	地区名	地域	地区名	地域	地区名
中央	東	西部	大成館	北部	芦田
	城北		松永		山野
	城南		精華		広瀬
	鷹取	南部	向丘		加茂
	※幸千（千田）		鞆		駅家
	済美		走島		駅家南
	中央		至誠		※幸千（御幸）
	誠之		千年		常金
	城西		内海		新市中央
東部	城東			北東	神辺
	鳳				神辺東
	培遠				神辺西
	大門				
	一ツ橋				
	東朋				

【中央地域】

1) 現況特性

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の社会・経済の中心であり、訪れる人に対して顔となる地域です。 福山駅周辺を中心とした業務・商業機能が集積する中心市街地と、これを囲む住宅地や産業集積地などで形成される地域です。
地域	東、城北、城南、鷹取、幸千（千田）、済美、中央、誠之、城西
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は増加傾向にあり、2005年（平成17年）現在で174,769人、本市人口の約38%が集中する地域となっています。 2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳による高齢化率は20.6%であり、市全体の21.6%を1ポイント下回っています。
みどりの概況	<ul style="list-style-type: none"> みどりの少ない市街地にあつて、南北に流れる芦田川や市街地背景となる周囲の山々がみどりの視認性を高めており、公園・緑地、公共施設のみどり、茶山などの小丘及び社寺林等が市街地の貴重なみどりとなっています。
骨格となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> 福山城跡、草戸山及び蔵王山周辺は風致地区[※]が指定され、みどりの保全が図られています。 北側を取り囲む郷分町、山手町、津之郷町、千田町及び蔵王町の山林は、保安林[※]、地域森林計画対象民有林[※]に指定されていますが、市街地背景ともなる斜面緑地[※]ではみどりの保全策が十分ではありません。 津之郷町などにおける貴重な野生生物の生息・生育・繁殖環境では、その保全策が十分ではありません。
公園・緑地等	<ul style="list-style-type: none"> 都市基幹公園[※]として福山城公園や緑町公園の総合公園[※]整備が進んでいます。 身近な公園として近隣・地区公園[※]は他地域に比べると多いものの、十分な整備量とは言えません。そうした中で、小中学校が近隣・地区公園[※]の機能を補完しています。 既存の公園では、施設の老朽化や市民ニーズの反映などが課題となっています。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地では、大規模商業施設や商店街などで緑化が行われていますが、敷地規模の小さな事業所や住宅などではみどりが不足しています。 南側の工業地では大規模工場を中心に緑化が行われています。 周辺の住宅地では宅内緑化も多くみられます。 市役所本庁では屋上緑化など緑化が行われていますが、その他公共施設では敷地に余裕がないため、余り緑化が行われていません。 福山駅大門線や福山駅箕島線を中心とした幹線道路で緑化が行われています。



2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳

■都市公園現況 中央

地区名	都市計画区域			
	箇所	面積 (ha)	一人当たり面積 (㎡)	
住区基幹公園	211	52.98	3.03	
	街区公園	201	34.50	1.97
	近隣公園	9	16.58	0.95
	地区公園	1	1.90	0.11
都市基幹公園	2	19.61	1.12	
	総合公園	2	19.61	1.12
	運動公園	-	-	-
特殊公園	2	20.60	1.18	
都市緑地	30	44.47	2.54	
広場公園	1	0.35	0.02	
合計	246	138.01	7.90	
人口	174,769人			

注)1.都市公園は2009年3月31日現在(市資料)
2.人口は2005年国勢調査

■公共施設緑地(中央)

公園名	みどり面積 (ha)	
	市街	調整
その他管理地(7ヶ所)	4.42	0.00
子ども広場(17ヶ所)	1.14	0.39
小学校(24ヶ所)	18.40	1.00
中学校(10ヶ所)	6.80	5.10
森林公園(2ヶ所)	0.00	121.09
その他運動場等(3ヶ所)	5.58	0.53
合計	36.34	128.11

注)都市計画区域内を対象

資料:市資料

2) みどりのまちづくりの目標

▼テーマ

みどりと水でつくる 潤いとにぎわいの地域づくり

3) みどりのまちづくり方針

▽緑地の保全・活用

蔵王山や草戸山，津之郷町や千田町周辺の山々のみどりを保全するとともに，自然や歴史的風土を活かした整備・活用に努めます。また，市街地背景ともなる周囲の斜面緑地[※]では，その重要度に応じた保全策を検討します。さらに，津之郷町周辺に残る貴重な野生生物の生息・生育・繁殖環境では，法や条例等による保全地域の指定を検討します。

箕島町の茶山など，市街地に残る小丘では，地域を代表するみどりとして緑地保全地域[※]や緑保全地区[※]などの指定を検討します。また，明王院や草戸稲荷神社など文化財と一体となり歴史的風土を形成している樹林地や市街地内に残る貴重な樹林地は，保全すべきみどりとして市民緑地[※]，緑保全地区[※]及び保護樹林の指定を検討します。さらに，寺社境内地の巨木や地域のランドマークとなる樹木は，所有者の理解と協力を得ながら保護樹木の指定を検討します。

市街地内に残る農地は，都市に潤いや安らぎをもたらす貴重なみどりであることから，土地所有者の意向を考慮しながら，市民農園[※]などによる保全・活用を検討します。箕島町・郷分町・瀬戸町などの一団の優良農地では，生産能力の向上や保全に努めます。



草戸山



箕島町の茶山



明王院と背景緑地



駅北上空から望む中央地域

▽緑地の創出・維持

本市の花「ばら」を象徴とするばら公園や緑町公園，本市の象徴でもある福山城一帯の福山城公園，中心市街地活性化の拠点でもある中央公園を中心として，利用者ニーズを反映した個性と魅力ある都市公園等の整備を推進するとともに，老朽化した都市公園等の再整備に努めます。

身近な公園が不足している地域では，住区基幹公園^{*}の適正配置に努めるとともに，その他管理地，子ども広場及び小中学校等の機能充実を図り，公園の整備量に対する市民の満足度を高めていきます。また，多様な市民ニーズを反映するため，福山市営競馬場跡地の一角に水と緑の豊かな環境を生かした，子育て世代から高齢者まで幅広い世代が交流でき市民が誇れる魅力的な公園を整備するとともに公園利用サービスの充実を図り，利用度の高い公園づくりを進めます。

災害時に様々な役割を果たす都市公園^{*}の適正配置に努めるとともに，広域避難場所となる緑町公園や福山城公園などでは，防災機能の充実に努めます。また，一文字緑地など工業地と住宅地の間にある緩衝緑地^{*}の適正な維持・管理に努めるとともに，新たな緩衝緑地^{*}等の指定を検討します。

芦田川緑地の整備をはじめ道三川や内港周辺の親水空間^{*}の整備，福山駅大門線や福山駅箕島線を中心とした幹線道路の緑化を計画的に進め，水とみどりのネットワークづくりに努めます。



ばら公園



(仮称)競馬場跡地公園
完成予想図



道路緑化（福山駅大門線）

▽緑化の推進

本市の顔となる中心市街地では緑化の推進により都市アメニティ^{*}を高め，活性化につなげていきます。

そのために，公共施設の緑化，特にばら花壇を中心とした敷地内の緑化を推進し，みどりのまちづくりを先導します。また，福山駅周辺では，市の花「ばら」「キク」や市の木「せんだん」「クスノキ」「モクセイ」などを用い，本市の顔として個性と魅力あるみどりの空間づくりに努めます。

大規模商業施設や商店街では，より一層の緑化や緑地の確保を誘導するとともに，敷地規模の小さな民有地では，ハンギングバスケット，壁面緑化及び立体花壇等による緑化を誘導します。また，各種助成制度の活用や苗木配布などにより，市民の緑化活動を支援し，市民の手によるみどりのまちづくりを推進します。

また，自然研修センターとして整備されているふくやまふれ愛ランドを活用した宿泊研修，野外活動，学校などを活用した環境学習の実施などにより，市民のみどりを愛する心を育みます。



屋上緑化（市役所本庁会議棟）

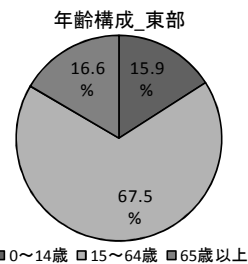
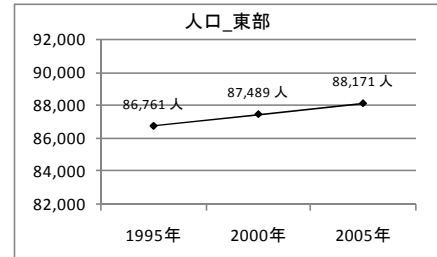
■方針図_中央地域



【東部地域】

1) 現況特性

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な宅地開発が行われた北側のゆとりある住宅地と、大規模工場をはじめとする南側の産業拠点で形成される地域です。福山ICを有し、幹線道路沿道に商業・業務施設が集積しています。
地域	城東，鳳，培遠，大門，一ツ橋，東朋
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は増加傾向にあり、2005年（平成17年）現在で88,171人、本市人口の約19%が生活する地域となっています。 2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳による高齢化率は16.6%であり、他の地域に比べて一番低く市全体の21.6%を5ポイント下回っています。
みどりの概況	<ul style="list-style-type: none"> 大門町北部，春日町及び坪生町北部の丘陵地に自然のみどりが残されていますが、引野町や大門町南部周辺の丘陵地では、みどりの消失が進んでいます。
骨格となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> 蔵王山周辺は風致地区*が指定され、保全が図られています。 春日町北部や大門町北部の山林は、保安林*，地域森林計画対象民有林*等に指定されていますが、市街地背景ともなる斜面緑地*ではみどりの保全策が十分ではありません。 引野町や大門町南部周辺の緑地は、市街地背景であり、南側の産業拠点と市街地との緩衝緑地*でもありますが、みどりの保全策が十分ではありません。 春日町における貴重な野生生物の生息・生育・繁殖環境では、その保全策が十分ではありません。
公園・緑地等	<ul style="list-style-type: none"> 都市基幹公園*として、水辺を活かした春日池公園が整備されています。 面的な都市基盤整備により、身近な公園である近隣公園*・地区公園*は比較的整備されているものの、十分な整備量とはいえません。そうした中で、小中学校が近隣・地区公園*の機能を補完しています。 既存の公園では、施設の老朽化や市民ニーズの反映などが課題となっています。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地には比較のみどりが多く、特に集合住宅ではボリュームのある緑地が整備されています。 なお、サントウン伊勢丘などでは、緑地協定*による緑化が図られています。 大規模事業所では緑化が進んでいるものの、大門町などの住工混在地域ではみどりが不足しています。 公共施設では敷地に余裕がないため、余り緑化が行われていません 福山駅大門線では緑化が進められているものの、その他の幹線道路では緑化が十分ではありません。



2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳

■都市公園現況_東部

地区名	都市計画区域		
	箇所	面積 (ha)	一人当たり面積 (㎡)
住区基幹公園	153	39.03	4.43
街区公園	147	25.03	2.84
近隣公園	5	9.40	1.07
地区公園	1	4.60	0.52
都市基幹公園	1	15.63	1.77
総合公園	1	15.63	1.77
運動公園	-	-	-
特殊公園	-	-	-
都市緑地	7	1.11	0.13
広場公園	-	-	-
合計	161	55.77	6.33
人口	88,171人		

注)1.都市公園は2009年3月31日現在(市資料)

2.人口は2005年国勢調査

■公共施設緑地(東部)

公園名	みどり面積 (ha)	
	市街	調整
その他管理地(1ヶ所)	0.25	0.00
子ども広場(10ヶ所)	0.45	0.42
小学校(14ヶ所)	13.40	0.70
中学校(5ヶ所)	6.20	0.00
森林公園(0ヶ所)	0.00	0.00
その他運動場等(1ヶ所)	0.66	0.00
合計	20.96	1.12

注)都市計画区域内を対象

資料:市資料

2) みどりのまちづくりの目標

▼テーマ

みどり豊かな生活環境と生産環境が共存した地域づくり

3) みどりのまちづくり方針

▽緑地の保全・活用

蔵王町、春日町及び坪生町の山々のみどりを保全するとともに、自然や歴史的風土を活かした整備・活用に努めます。また、市街地背景となる斜面緑地※では、その重要度に応じた保全策を検討します。さらに、春日町周辺に残る貴重な野生生物の生息・生育・繁殖環境では、法や条例等による保全地域の指定を検討します。

住宅地と工業地の間に残る引野町や大門町の樹林地は、良好な生活環境を維持する緩衝機能を有するため、都市緑地※などの指定を検討し、適切な保全に努めます。

市街地内に残る社寺林などの樹林地や地域のランドマークとなる樹木は、保護樹林や保護樹木等の指定を検討します。



大門町の斜面緑地※

▽緑地の創出・維持

地域住民の憩いの場となっている春日池公園では、市民ニーズの反映や公園利用サービスの充実を図り、利用度の高い公園づくりを進めます。また、坪生町や引野町などに残るため池では、親水公園としての活用を検討します。

整備量が不足する近隣公園※や地区公園※では、住宅団地周辺を中心に配置を検討するとともに、代替機能として小中学校、既設公園及び運動施設等の機能充実を図ります。また、民間開発など新たな面整備と連携して、公園・緑地機能を確保していきます。

既存の公園では、老朽化した施設の再整備、バリアフリー化、多様なニーズの反映及び公園利用サービスの充実を図り、利用度の高い公園づくりを進めます。

災害時に様々な役割を果たす都市公園※の適正配置に努めるとともに、広域避難場所の役割を果たしうる公園では、防災機能の充実に努めます。

手城川をはじめとした河川やため池のみどりの保全や親水空間※の整備、福山駅大門線を中心とした幹線道路の緑化などを計画的に進め、水とみどりのネットワークづくりに努めます。



春日池公園

▽緑化の推進

公共施設の緑化推進，特にばら花壇を中心とした敷地内の緑化を推進し，みどりのまちづくりを先導します。

住宅地では，敷地周囲の生け垣化や花壇の設置など市民自らの緑化活動や緑地協定*等の組織づくりなどを誘導し，みどりあふれる住環境の創出を図ります。

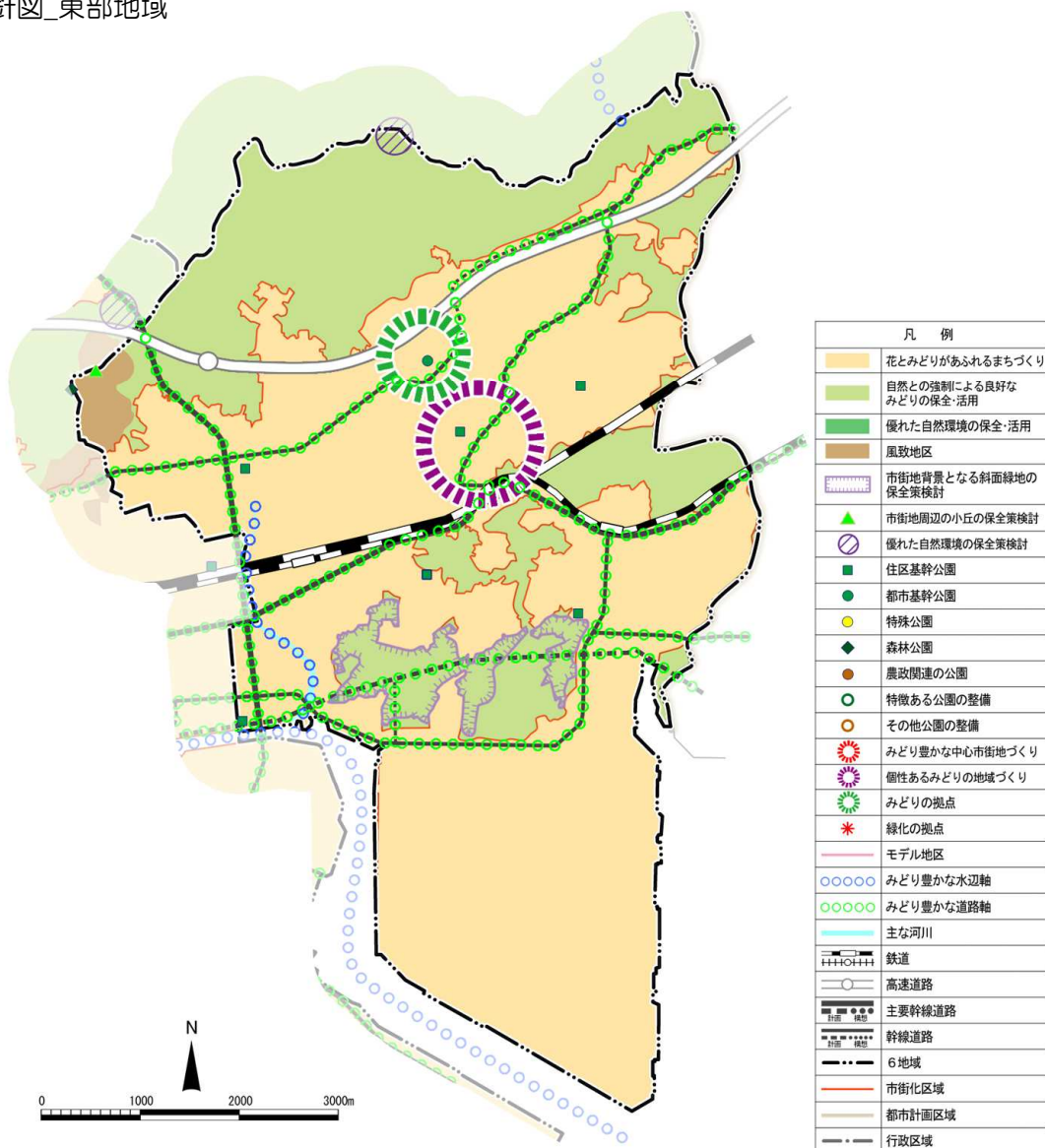
工場などの事業所では，敷地外周を中心とした緑化を積極的に誘導します。

新たな大規模開発では緑地協定*，環境保全協定の締結及び地区計画*や緑化地域*制度による緑化率規制*などの法制度を活用した，みどり豊かな新市街地の形成を誘導します。



事業所の緩衝緑地*

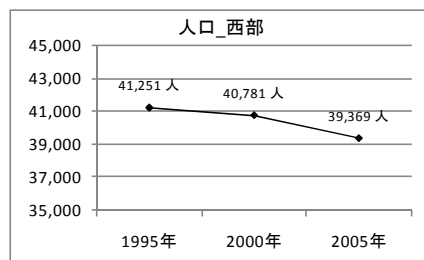
■方針図_東部地域



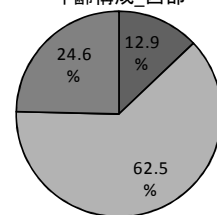
【西部地域】

1) 現況特性

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> J R松永駅を中心とした旧市街地，木工を中心とした南部の産業拠点，豊かな自然環境と調和した内陸部の農業集落で形成される地域です。 北部は福山大学が立地する学園地域であり，交流人口の多い地域となっています。
地域	大成館，松永，精華
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は減少傾向にあり，2005年（平成17年）現在で39,369人，本市人口の約9%が生活する地域となっています。 2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳による高齢化率は24.6%であり，市全体の21.6%を3ポイント上回っています。
みどりの概況	<ul style="list-style-type: none"> 市街地を取り囲む山々と本郷川や羽原川の河川によりみどりの視認性が高められています。 旧市街地ではみどりが少なく，農地や公園が貴重なみどりとなっています。 市街地外周には良好な農地が広がっており，ため池も多く，自然豊かな郷土の風景が形成されています。
骨格となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> 北側と西側の山林は保安林*や地域森林計画対象民有林*に指定されています。 北部の東村町周辺，南東部の金江町及び藤江町周辺における一団の優良農地は，農用地区域*に指定されています。
公園・緑地等	<ul style="list-style-type: none"> 市街地では，面整備された南側を除いて身近な公園の整備が遅れていますが，その他管理地や子ども広場が街区公園*の機能を補完し，小中学校が近隣・地区公園*の機能を補完しています。 既存の公園では，施設の老朽化や市民ニーズの反映などが課題となっています。 地域内に都市基幹公園*はないものの，自然とふれあう森林公園として本郷憩いの森や緑陽公園が整備されています。そのほか，金江町には市民緑化の拠点となる園芸センターが整備されています。 市街地内に残るクリーク*を活用した親水空間*の整備が進められています。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> 建物が密集している旧市街地ではみどりが不足していますが，近年建設された集合住宅や商業施設などでは緑化が行われています。 公共施設では敷地に余裕がないため，余り緑化が行われていません 近年整備された幹線道路以外の道路では緑化が十分ではありません。



年齢構成_西部



2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳

■都市公園現況_西部

地区名	都市計画区域		
	箇所	面積 (ha)	一人当たり面積 (㎡)
住区基幹公園	52	9.32	2.37
街区公園	50	6.03	1.53
近隣公園	2	3.29	0.84
地区公園	-	-	-
都市基幹公園	-	-	-
総合公園	-	-	-
運動公園	-	-	-
特殊公園	-	-	-
都市緑地	3	2.55	0.65
広場公園	-	-	-
合計	55	11.87	3.02
人口	39,369人		

注) 1.都市公園は2009年3月31日現在(市資料)

2.人口は2005年国勢調査

■公共施設緑地(西部)

公園名	みどり面積 (ha)	
	市街	調整
その他管理地(3ヶ所)	0.07	0.02
子ども広場(8ヶ所)	0.14	0.32
小学校(8ヶ所)	2.20	4.20
中学校(3ヶ所)	1.80	0.90
森林公園(2ヶ所)	0.00	108.62
その他運動場等(1ヶ所)	0.00	1.22
合計	4.21	115.28

注) 都市計画区域内を対象

資料: 市資料

2) みどりのまちづくりの目標

▼テーマ

自然と文化・教育，産業が融合した潤いある地域づくり

3) みどりのまちづくり方針

▽緑地の保全・活用

本郷町，神村町，柳津町及び金江町の山々のみどりを保全するとともに，自然豊かな憩いとレクリエーションの空間として活用していきます。

新たな大規模開発等においては，計画的なみどりの保全・整備による自然との共生に努めます。

一団の優良農地では，生産能力の向上や保全に努めます。また，開発計画等が予定された場合は，その必要性を十分に考慮し適切に対応します。



本郷憩いの森

▽緑地の創出・維持

広域的機能を有し，本地域のみどりの核となる都市基幹公園[※]の整備を検討します。

身近な公園の不足している地域では，民間開発などと連携した公園整備や遊休地[※]を活用した市民緑地[※]の締結などにより公園の機能を確保するとともに，その他管理地，子ども広場及び小中学校等の機能充実を図り，公園の整備量に対する市民の満足度を高めていきます。

既存の公園では，老朽化した施設の再整備，バリアフリー化，多様なニーズの反映及び公園利用サービスの充実を図り，利用度の高い公園づくりを進めます。

港湾区域では，港湾計画に基づく緑地等の整備を推進し，海辺にみどりを創出していきます。

災害時に様々な役割を果たす都市公園[※]の適正配置に努めるとともに，広域避難場所の役割を果たしうる公園では，防災機能の充実に努めます。

本郷川をはじめとした河川のみどりの保全や親水空間[※]の整備，松永クリーク[※]を活かした親水空間[※]の整備，幹線道路の緑化などを計画的に進め，水とみどりのネットワークづくりに努めます。



松永グリーンパーク



松永クリーク[※]



本郷川

▽緑化の推進

旧市街地内のみどりを増やしていくため、歩道付道路へのプランター配置，ばら花壇を中心とした公共施設の緑化を推進し，みどりのまちづくりを先導します。

住宅地や工場など私有地では，敷地規模や用途に応じた緑化を誘導します。

新たな大規模開発では，緑地協定^{*}，環境保全協定の締結及び地区計画^{*}や緑化地域^{*}制度などの法制度を活用した，みどり豊かな新市街地の形成を誘導します。

北部の学園地域では核となる福山大学との連携を強化し，みどりを愛する心を育み，人材を育成していくとともに，緑化の推進を図り，みどり豊かな学園地域をめざします。

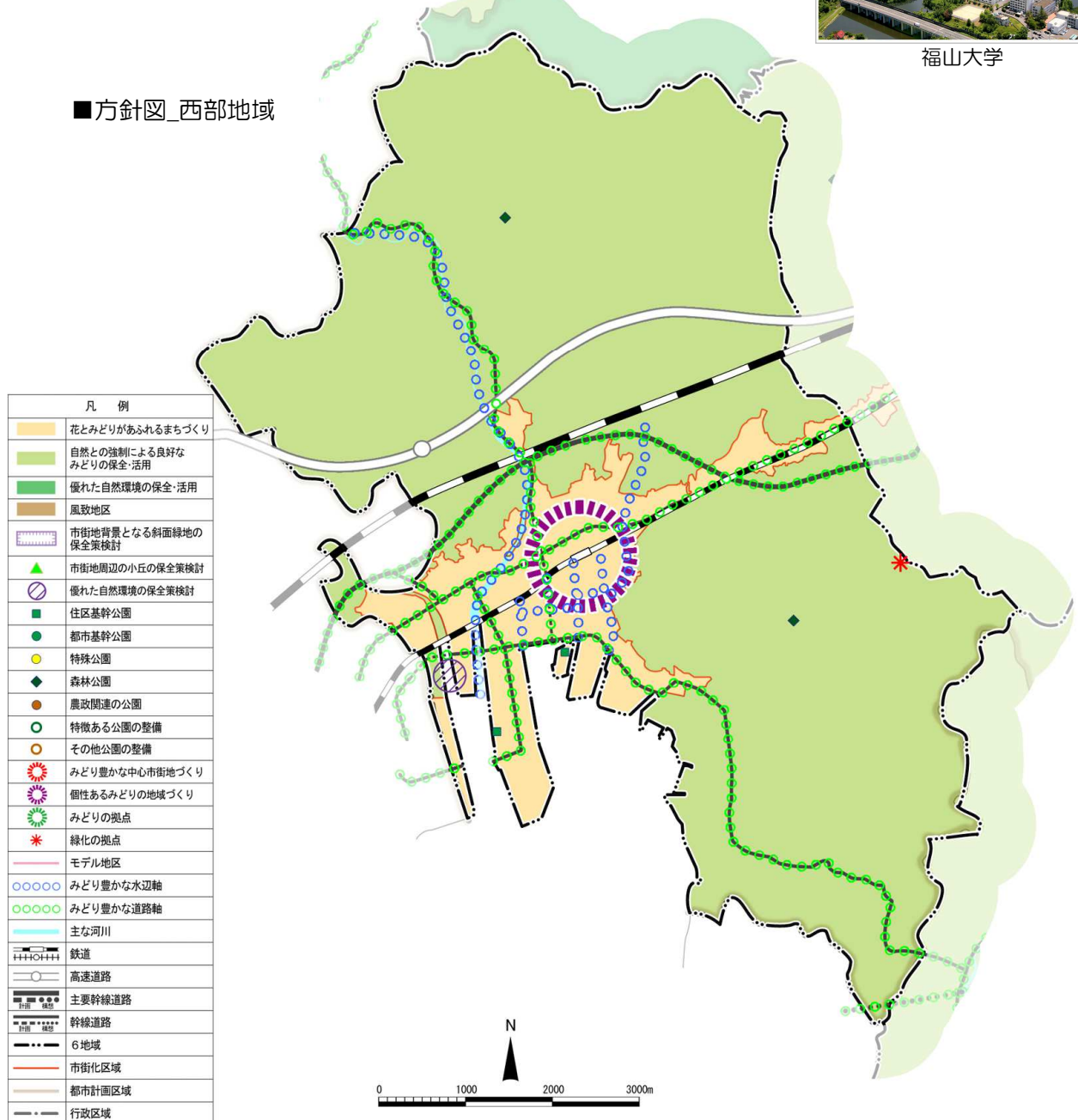


園芸センター



福山大学

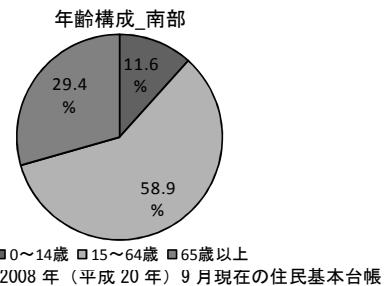
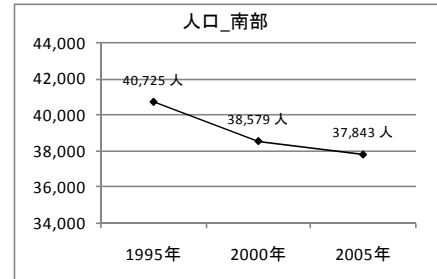
■方針図_西部地域



【南部地域】

1) 現況特性

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 海や山の豊かな自然を背景に、芦田川や海岸沿い、山間の平地部に市街地や農山漁村集落が形成されています。 歴史的風情を残す鞆町のまち並みを中心に、多島美に優れた瀬戸内海国立公園[*]、内陸部や島しょ部に残された豊かな自然などを活かした観光交流拠点として魅力に溢れた地域です。
地域	向丘，鞆，走島，至誠，千年，内海
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は減少傾向にあり、2005年（平成17年）現在で37,843人、本市人口の約8%が生活する地域となっています。 2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳による高齢化率は29.4%であり、他の地域に比べて一番高く市全体の21.6%を7.8ポイント上回っています。
みどりの概況	<ul style="list-style-type: none"> 内陸部には標高400m級の山々が連なり、みどり豊かな市街地の背景となっていますが、水呑町や鞆町の市街地内のみどりは不足しています。 沼隈町では背景となる山林と市街地に介在する農地などにより、比較的にみどりの多い市街地が形成されています。 内海町などの島しょ部では、豊かな自然と調和した集落が形成されています。
骨格となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> 仙酔島や走島をはじめとする島しょ部及び鞆町の山林の一部は瀬戸内海国立公園[*]が指定され、内海町南東部には当木島・釜戸岬県自然環境保全地域[*]が指定され、保全が図られています。 鞆町・田尻町から熊野町周辺には風致地区[*]が指定され、みどりの保全が図られています。 内陸部及び島しょ部の山林は国有林や保安林[*]が指定され、その他も大部分が地域森林計画対象民有林[*]に指定されています。 熊野町周辺における一団の優良農地は、農用地区域[*]に指定されています。
公園・緑地等	<ul style="list-style-type: none"> 都市基幹公園[*]として竹ヶ端運動公園[*]が整備され、芦田川緑地の河口付近には日本でも有数の漕艇場が整備されています。また、グリーンライン沿線には自然の中でレクリエーションが楽しめるファミリーパークが整備されています。 水呑町や鞆町周辺の市街地では土地の制約などから、身近な公園が不足しています。また、沼隈町や内海町においても身近な公園が不足しています。特にレクリエーション機能の核となる近隣公園[*]が整備されておらず、現在は小中学校がその機能の補完をしています。 既存の公園では、施設の老朽化や市民ニーズの反映などが課題となっています。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> 昔ながらのまち並みを有し地形的特性のある鞆町では、みどりが不足する中で社寺林等が貴重なみどりとなっています。また、市街地背後には豊かな自然が広がっています。 水呑町周辺の住宅地でもみどりは少ない状況です。 沼隈町では公共施設の緑化は余り行われていませんが、市街地に介在する農地、宅内緑化及び市街地背景となる斜面緑地[*]などにより、みどりの視認性は高くなっています。 内海町では地形的特性があり、民有地や公共施設の緑化は余り行われていませんが、豊かな自然が市街地背後に広がり、みどりの視認性は高くなっています。



■都市公園現況_南部

地区名	都市計画区域		
	箇所	面積 (ha)	一人当たり面積 (㎡)
住区基幹公園	24	3.81	1.01
街区公園	24	3.81	1.01
近隣公園	-	-	-
地区公園	-	-	-
都市基幹公園	1	16.30	4.31
総合公園	-	-	-
運動公園	1	16.30	4.31
特殊公園	1	9.40	2.48
都市緑地	4	5.51	1.46
広場公園	-	-	-
合計	30	35.02	9.25
人口	37,843人		

注)1.都市公園は2009年3月31日現在(市資料)
2.人口は2005年国勢調査

■公共施設緑地(南部)

公園名	みどり面積 (ha)	
	市街	調整
その他管理地(5ヶ所)	0.23	0.38
子ども広場(14ヶ所)	1.07	0.21
小学校(6ヶ所)	3.30	0.50
中学校(4ヶ所)	2.30	2.70
森林公園(0ヶ所)	0.00	0.00
その他運動場等(0ヶ所)	0.00	0.00
合計	6.90	3.79

注)都市計画区域内を対象

資料:市資料

2) みどりのまちづくりの目標

▼テーマ

自然と歴史・文化を活かした観光交流と住み心地のよい地域づくり

3) みどりのまちづくり方針

▽緑地の保全・活用

熊ヶ峰や彦山など内陸部の山林，竹ヶ端の丘陵地及び島しょ部の山林を保全するとともに，自然や歴史的風土を活かした整備・活用に努めます。

瀬戸内海国立公園[※]である鞆・仙酔島などの自然海岸の保全に努めるとともに，海浜公園などレクリエーション拠点として活用を検討します。

また，島しょ部などその他の自然海岸についても防災に配慮しながら保全に努めます。

熊野町や沼隈町における一団の優良農地では，生産能力の向上や保全に努めます。



島しょ部の山林（内海町）



瀬戸内海国立公園[※]



上空から鞆町周辺



上空から望む内海町周辺

▽緑地の創出・維持

広域的に利用されている竹ヶ端運動公園※では、機能拡充や公園利用サービスの充実を図り、利用度の高い公園づくりを進めます。

水呑町では、水呑三新田土地区画整理事業※と連携した街区公園※の整備を推進します。また、既存の市街地ではオープンスペース※を活用した広場などの整備を検討します。

鞆町や田尻町では、防災の観点からも公共施設、寺社及び遊休地※等を活用した広場など、オープンスペース※の整備を検討します。また、港湾計画に基づき港湾緑地を整備するとともに、鞆町では、護岸堤防を活用した遊歩道整備や沿道緑化などを検討し、観光拠点としての魅力を高めます。

沼隈町や内海町などその他の地域においても、市民ニーズを考慮した身近な公園の計画的な整備に努めます。

熊野水源池及び常国寺周辺では、歴史資源と優れた自然を有する風致公園※の整備を検討します。

既存の公園では、老朽化した施設の再整備，バリアフリー化，多様なニーズの反映及び公園利用サービスの充実を図り，利用度の高い公園づくりを進めます。

災害時に様々な役割を果たす都市公園※の適正配置に努めるとともに，広域避難場所の役割を果たしうる公園では，防災機能の充実に努めます。

芦田川や山南川をはじめとした河川やため池のみどりの保全や親水空間※の整備，自然海岸の保全，港湾区域におけるみどりの創出と親水性の向上，幹線道路の緑化などを計画的に進め，水とみどりのネットワークづくりに努めます。



竹ヶ端運動公園※



熊野水源池



山南川

▽緑化の推進

鞆町周辺では、歴史的な景観に配慮した公共施設や道路の緑化を推進し、みどりのまちづくりを先導するとともに、花とみどりによるもてなしの空間を創出します。また、民有地においても、ハンギングバスケットやプランターなど、敷地を有効に活用した緑化策を誘導していきます。

その他の地域においても、公共施設や道路を中心に緑化を推進し、みどりのまちづくりを先導するとともに、各家庭での生け垣化や花壇の設置などを誘導します。また、水呑三新田地区では、みどり豊かな新市街地の形成を計画的に誘導するため、緑地協定※の締結や緑化地域※制度による緑化率規制※など法制度の活用を検討します。

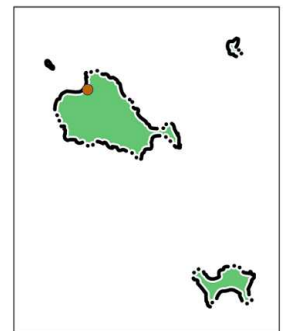
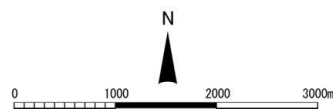
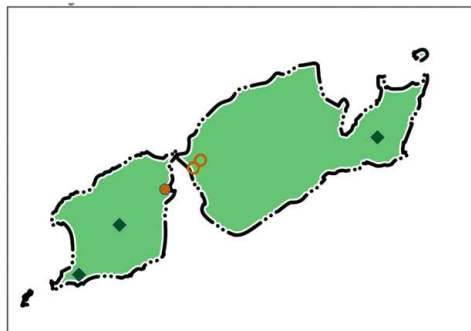
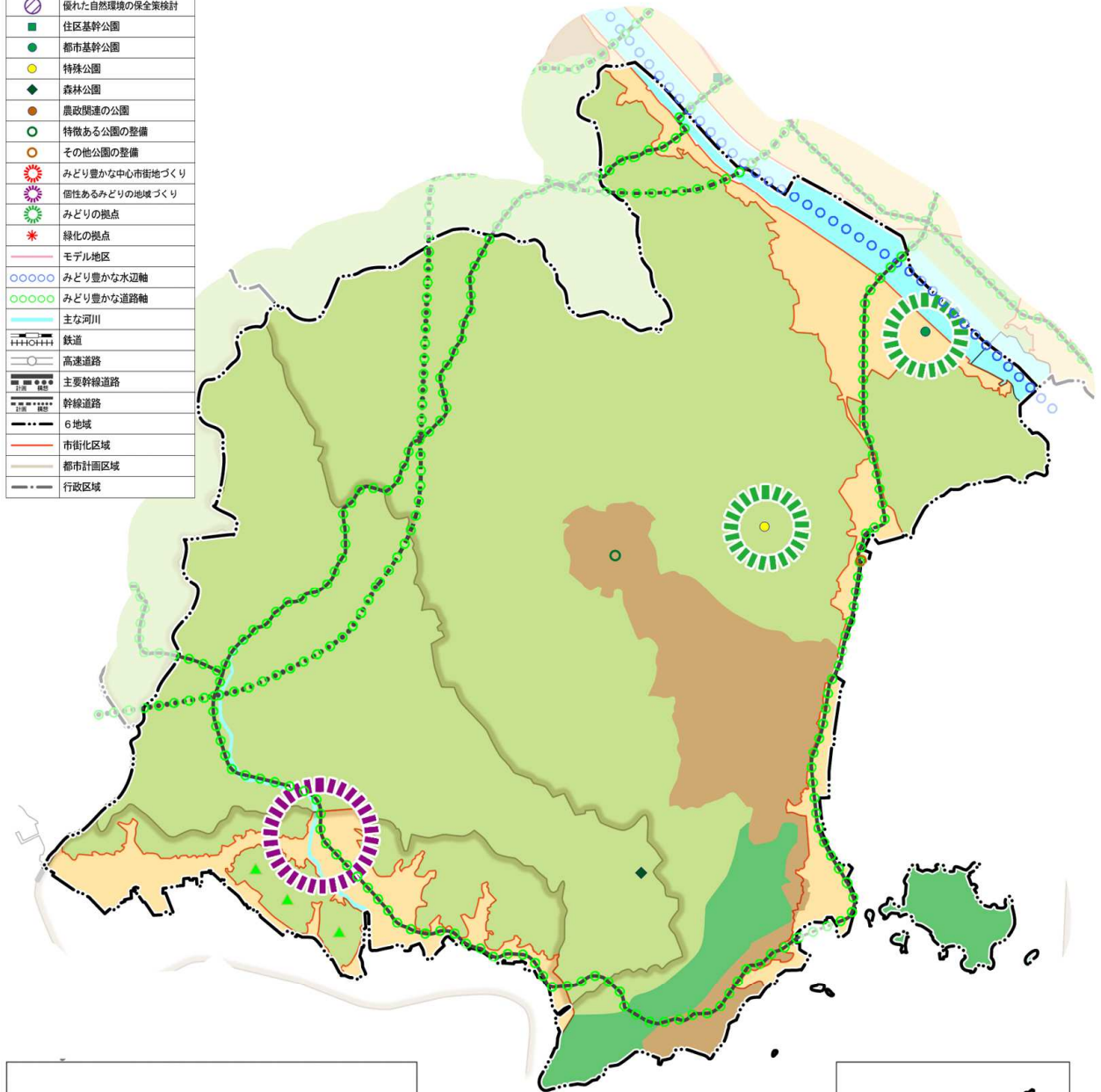
工場などの事業所では、敷地外周を中心とした緑化を積極的に誘導します。



歴史的景観と調和したみどり

■方針図_南部地域

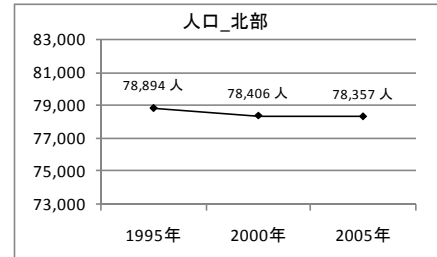
凡 例	
	花とみどりがあふれるまちづくり
	自然との強制による良好なみどりの保全・活用
	優れた自然環境の保全・活用
	風致地区
	市街地背景となる斜面緑地の保全策検討
	市街地周辺の小丘の保全策検討
	優れた自然環境の保全策検討
	住区基幹公園
	都市基幹公園
	特殊公園
	森林公園
	農政関連の公園
	特徴ある公園の整備
	その他公園の整備
	みどり豊かな中心市街地づくり
	個性あるみどりの地域づくり
	みどりの拠点
	緑化の拠点
	モデル地区
	みどり豊かな水辺軸
	みどり豊かな道路軸
	主な河川
	鉄道
	高速道路
	主要幹線道路
	幹線道路
	6地域
	市街化区域
	都市計画区域
	行政区域



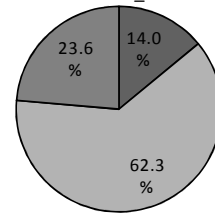
【北部地域】

1) 現況特性

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 森林・農地・河川などの恵まれた自然環境を有するとともに、芦田川左岸の平地部に市街地が発達し、幹線道路の整備、大学の立地及び産業基盤の整備など都市化が進行している地域です。
地域	芦田, 山野, 広瀬, 加茂, 駅家, 駅家南, 幸千 (御幸), 常金, 新市中央
人口	<ul style="list-style-type: none"> 若干の減少傾向はみられるものの、人口は維持されており、2005年(平成17年)現在で78,357人、本市人口の約17%が生活する地域となっています。 2008年(平成20年)9月現在の住民基本台帳による高齢化率は23.6%であり、市全体の21.6%を2ポイント上回っています。
みどりの概況	<ul style="list-style-type: none"> 加茂町, 駅家町, 新市町北部, 山野町及び芦田町など地域の大部分がみどり豊かな山林となっています。 南側の芦田川右岸の平坦地には、水田を中心とした良好な農地が広がっています。 駅家町や御幸町を中心に都市化の進展がみられますが、市街地にも農地が残っています。
骨格となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> 山野町北端には山野峡県立自然公園*が指定され、駅家町新山の大方福盛寺周辺には大方緑地環境保全地域*が指定され、保全が図られています。 山林の大部分は、地域森林計画対象民有林*や保安林*に指定され、国有林も多くありますが、市街地背景ともなる斜面緑地*ではみどりの保全策が十分ではありません。 御幸町を除き、農業振興地域における一団の優良農地は農用地区域*に指定されています。
公園・緑地等	<ul style="list-style-type: none"> 都市基幹公園*として、総合公園*である駅家公園や服部大池公園, 運動公園*である大佐山運動公園*が整備されています。 身近な公園として街区公園*や近隣公園*が整備されていますが、十分な整備量とはいえません。そうした中で、小中学校が近隣・地区公園*の機能を補完しています。 既存の公園では、施設の老朽化や市民ニーズの反映などが課題となっています。 特殊公園*として加茂公園と富谷公園が整備されています。特に富谷公園は、動物園, 富谷池の親水空間*及び運動広場など様々な機能を有しています。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> 新市町の市街地では地形的特性があり、民有地や公共施設のみどりが不足しています。その他市街地の比較的敷地規模の大きな民有地では、花壇, 庭園及び家庭菜園などみどりが多く見られます。また、サントウン駅家では緑地協定*が結ばれ、市民自身の手によってみどり豊かなまちづくりが進められています。 加茂町の産業団地では環境保全協定が結ばれ、みどり豊かなまちづくりが進められています。 近年整備された幹線道路以外の道路では緑化が十分ではありません。



年齢構成_北部



2008年(平成20年)9月現在の住民基本台帳

■都市公園現況_北部

地区名	都市計画区域		
	箇所	面積 (ha)	一人当たり面積 (㎡)
住区基幹公園	75	10.86	1.39
街区公園	74	9.56	1.22
近隣公園	1	1.30	0.17
地区公園	-	-	-
都市基幹公園	3	12.30	1.57
総合公園	2	4.50	0.57
運動公園	1	7.80	1.00
特殊公園	2	4.27	0.54
都市緑地	8	13.63	1.74
広場公園	-	-	-
合計	88	41.06	5.24
人口	78,357人		

注)1.都市公園は2009年3月31日現在(市資料)

2.人口は2005年国勢調査

■公共施設緑地(北部)

公園名	みどり面積 (ha)	
	市街	調整
その他管理地(6ヶ所)	1.42	0.89
子ども広場(20ヶ所)	0.29	2.39
小学校(11ヶ所)	5.30	2.90
中学校(6ヶ所)	4.50	3.20
森林公園(2ヶ所)	0.00	0.96
その他運動場等(1ヶ所)	0.00	0.83
合計	11.51	11.17

注)都市計画区域内を対象

資料:市資料

2) みどりのまちづくりの目標

▼テーマ

みどり豊かな山々や田園環境と調和する快適な地域づくり

3) みどりのまちづくり方針

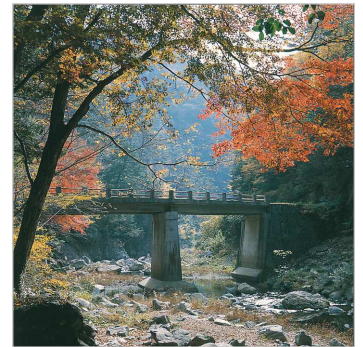
▽緑地の保全・活用

本地域の郷土景観となるだけでなく、本市のみどりの骨格となっている北部の山々のみどりを保全するとともに、自然や歴史的風土を活かした整備・活用に努めます。また、市街地背景ともなる斜面緑地※では、その重要度に応じた保全策を検討します。さらに、新たな大規模開発では、計画的なみどりの保全・整備による自然との共生に努めます。

山野峡県立自然公園※では恵まれた自然環境を保全しつつ、レクリエーション空間としての魅力を高めていきます。また、大坊緑地環境保全地域※では、豊かな自然と貴重な歴史的遺産が融合する地域として今後とも保全に努めます。

吉備津神社など文化財と一体となり歴史的風土を形成している樹林地や市街地内に残る貴重な樹林地は、保全すべきみどりとして市民緑地※、緑保全地区※及び保護樹木の指定を検討します。さらに、寺社境内地の巨木や地域のランドマークとなる樹木は、所有者の理解と協力を得ながら保護樹木の指定を検討します。

一団の優良農地では、生産能力の向上や保全に努めます。また、幹線道路の整備にともない、市街化圧力の高まりがある駅家町、御幸町及び加茂町などの農地において開発計画等が予定された場合は、その必要性を十分に考慮し適切に対応していきます。



山野峡県立自然公園※



大坊緑地環境保全地域※



吉備津神社と背景緑地



新市町上空から望む北部地域

▽緑地の創出・維持

本地域のみどりの核となる服部大池公園，駅家公園及び大佐山運動公園※の整備を推進するとともに，機能拡充や公園利用サービスの充実を図り，利用度の高い公園づくりを進めます。また，富谷公園は市立動物園としての利用も多いことを踏まえ，利用者ニーズを反映した施設の整備，広域な利用を踏まえた誘導・案内の充実など利用度の高い公園づくりを進めます。



服部大池公園

民間開発との連携や未利用地の有効活用などにより，不足している身近な公園，広場の機能を確保していきます。また，その他管理地，子ども広場及び小中学校の機能充実を図り，公園の整備量に対する市民の満足度を高めていきます。さらに，新市町では防災の観点からも公共施設，寺社及び遊休地※等を活用した広場など，オープンスペース※の整備を検討します。



相方城跡

新市城山一帯では，歴史資源と優れた自然を有する風致公園※の整備を検討します。

既存の公園では，老朽化した施設の再整備，バリアフリー化，多様なニーズの反映及び公園利用サービスの充実を図り，利用度の高い公園づくりを進めます。



神谷川

災害時に様々な役割を果たす都市公園※の適正配置に努めるとともに，広域避難場所の役割を果たしうる公園では，防災機能の充実に努めます。

芦田川や神谷川などの河川やため池のみどりの保全や親水空間※の整備，駅家神辺線を中心とした幹線道路の緑化などを計画的に進め，水とみどりのネットワークづくりに努めます。

▽緑化の推進

ばら花壇を中心とした公共施設の緑化を推進し，みどりのまちづくりを先導していきます。

住宅地では緑化意識の啓発や緑化活動の誘導などを行い，生け垣や花壇の設置など，豊かなみどりを擁する市街地環境を維持・増進していきます。



緑地協定※の結ばれた住宅団地

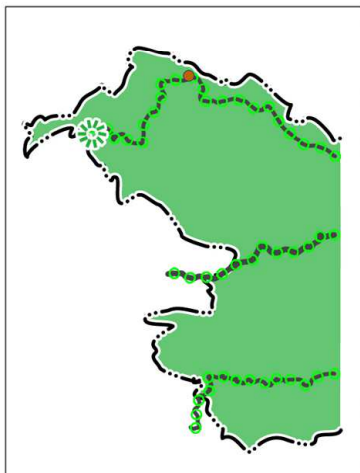
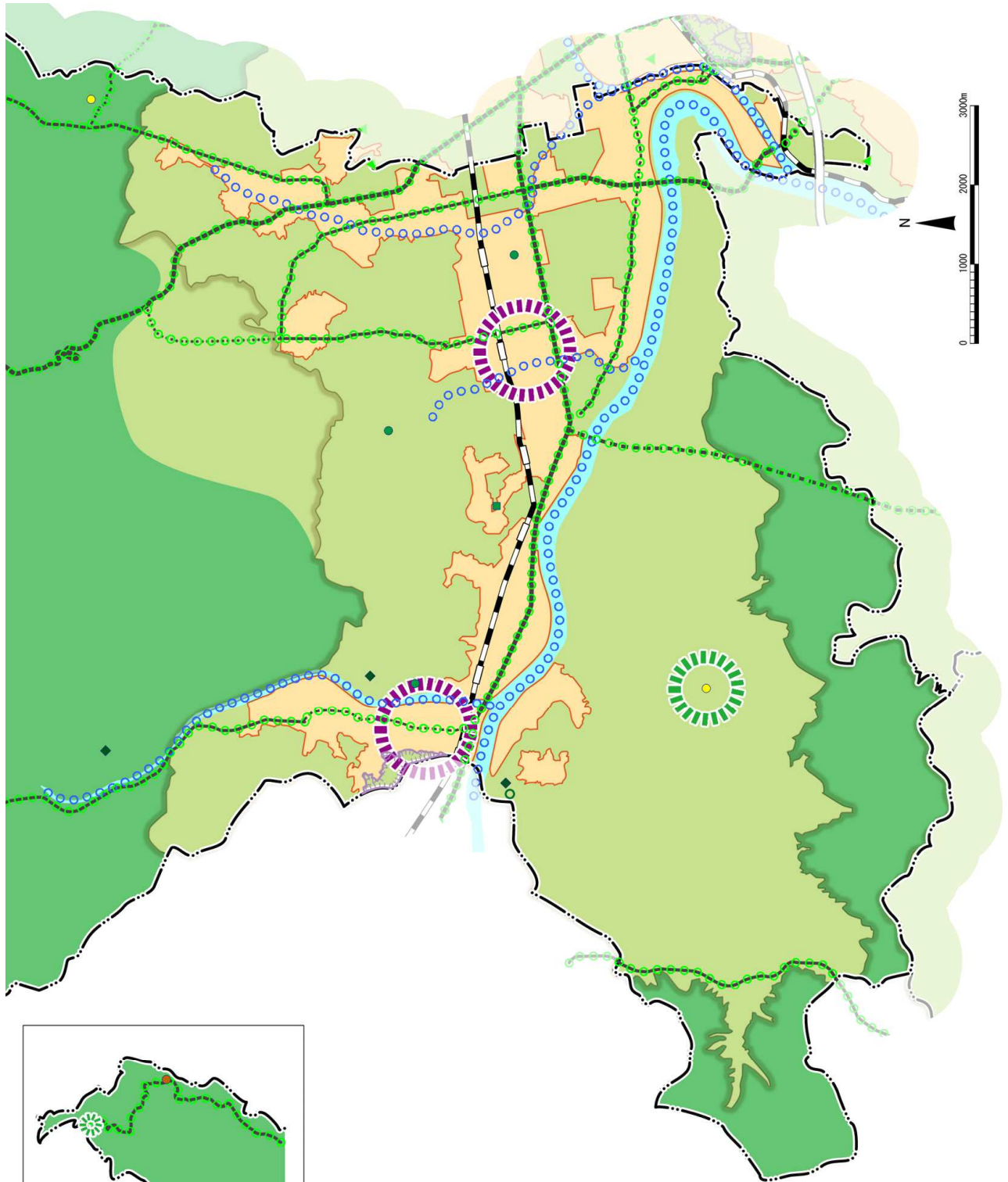
工場などの事業所では，敷地外周を中心とした緑化を積極的に誘導します。

新たな面整備事業にあたっては，計画的な公園配置を指導するとともに，緑地協定※，環境保全協定の締結及び地区計画※や緑化地域※制度による緑化率規制※などの法制度を活用した，市民自身によるみどり豊かなまちづくりを誘導します。



工業団地（環境保全協定）

■方針図_北部地域

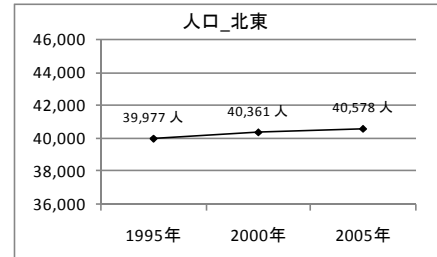


凡 例	
	花よみどりがあふれるまちづくり
	自然との調和による良好なみどりの保全・活用
	優れた自然環境の保全・活用
	風致地区
	市街地調整となる斜面緑地の保全策検討
	市街地周辺の小丘の保全策検討
	優れた自然環境の保全策検討
	住区基幹公園
	都市基幹公園
	特殊公園
	森林公園
	農政関連の公園
	特徴ある公園の整備
	みどり豊かな中心市街地づくり
	個性あるみどりの地域づくり
	みどりの拠点
	緑化の拠点
	モラル地区
	みどり豊かな水辺軸
	みどり豊かな道路軸
	主な河川
	鉄道
	高速道路
	主要幹線道路
	幹線道路
	6地域
	市街化区域
	都市計画区域
	行政区域

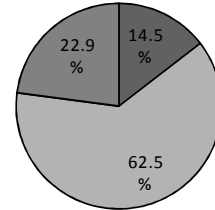
【北東地域】

1) 現況特性

地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・神辺城の城下町，山陽道の宿場町として歴史・文化の薫りが残る高屋川左岸の旧市街地と，国道486号沿道の新市街地，市街地外縁の農村集落で形成される地域です。 ・地場産業である繊維関連に加え，電子・電気関連の産業基盤を有し，近年は市街化の進展による生活利便性の向上がみられます。
地域	神辺，神辺東，神辺西
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は増加傾向にあり，2005年（平成17年）現在で40,578人，本市の約9%が生活する地域となっています。 ・2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳による高齢化率は22.9%であり，市全体の21.6%を1.3ポイント上回っています。
みどりの概況	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり豊かな山林が市街地を取り囲み，特に南側ではランドマークともなる吉野山をはじめとした山々が旧市街地の背景となっています。 ・高屋川右岸では国道486号沿道の市街地を取り囲むように良好な農地が広がっており，ため池も多く存在します。また，市街地にも農地が残っています。 ・市街化の進展にともない農地は減少傾向にあり，さらに，市街地に隣接する樹林地なども減少しています。
骨格となるみどり	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地を取り囲む山林は，保安林[※]や地域森林計画対象民有林[※]等に指定されています。 ・市街地外縁の一団の優良農地は農用地区域[※]に指定されています。 ・下竹田には県の天然記念物[※]に指定されたゲンジボタルの生息・生育・繁殖環境がありますが，その保全策は十分ではありません。
公園・緑地等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に都市基幹公園[※]はないものの，特殊公園[※]として堂々公園や山王山公園が整備されています。 ・身近な公園として街区公園[※]と地区公園[※]が整備されていますが，十分な整備量とはいえず，特に高屋川左岸の旧市街地で不足しています。また，レクリエーション機能の核となる近隣公園[※]が整備されておらず，現在は小中学校がその機能の補完をしています。 ・既存の公園では，施設の老朽化や市民ニーズの反映などが課題となっています。
緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらのまち並みを有し地形的特性がある高屋川左岸の旧市街地ではみどりが不足していますが，豊かな自然が市街地背後に迫り，社寺林等が貴重なみどりとなっています。 ・近年整備された幹線道路以外の道路では緑化が十分ではありません。



年齢構成_北東



2008年（平成20年）9月現在の住民基本台帳

■都市公園現況_北東

地区名	都市計画区域		
	箇所	面積 (ha)	一人当たり面積 (㎡)
住区基幹公園	48	18.54	4.57
街区公園	47	6.64	1.64
近隣公園	-	-	-
地区公園	1	11.90	2.93
都市基幹公園	-	-	-
総合公園	-	-	-
運動公園	-	-	-
特殊公園	2	6.90	1.70
都市緑地	-	-	-
広場公園	-	-	-
合計	50	25.44	6.27
人口	40,578人		

注)1.都市公園は2009年3月31日現在(市資料)

2.人口は2005年国勢調査

■公共施設緑地(北東)

公園名	みどり面積 (ha)	
	市街	調整
その他管理地(2ヶ所)	0.85	0.02
子ども広場(13ヶ所)	0.00	2.09
小学校(5ヶ所)	2.60	1.50
中学校(3ヶ所)	0.00	6.40
森林公園(1ヶ所)	0.00	71.89
その他運動場等(2ヶ所)	0.00	1.93
合計	3.45	83.83

注)都市計画区域内を対象

資料:市資料

2) みどりのまちづくりの目標

▼テーマ

豊かな自然と歴史・文化を活かした住み心地のよい地域づくり

3) みどりのまちづくり方針

▽緑地の保全・活用

御領山をはじめとした北部の山々や吉野山をはじめとした南部の山々のみどりを保全するとともに、自然や歴史的風土を活かした整備・活用に努めます。また、下竹田周辺に残る貴重な野生生物の生息・生育・繁殖環境では、法や条例等による保全地域の指定を検討します。

片山など市街化圧力の高い市街地及び周辺の小丘は、地域を代表するみどりとして緑地保全地域^{*}や緑保全地区^{*}などの指定を検討します。また、岡山（亀山）神社など文化財と一体となり歴史的風土を形成している樹林地や市街地に残る貴重な樹林地は、保全すべきみどりとして市民緑地^{*}、緑保全地区^{*}及び保護樹林の指定を検討します。さらに、寺社境内地の巨木や地域のランドマークとなる樹木は、所有者の理解と協力を得ながら、保護樹木の指定を検討します。

一団の優良農地では、生産能力の向上や保全に努めます。また、幹線道路の整備にともない、市街化圧力の高まりがある農地において開発計画等が予定された場合は、その必要性を十分に考慮し適切に対応していきます。



神辺町から望む吉野山



岡山（亀山）神社と背景緑地



市街地に隣接する一団の農地

▽緑地の創出・維持

広域的機能を有し、本地域のみどりの核となる都市基幹公園[※]の整備を検討します。また、吉野山公園では、神辺城跡などの歴史・文化及び風致の保全に努めるとともに、機能拡充や公園利用サービスの充実を図り、個性と魅力ある総合的な公園づくりを進めます。さらに、堂々公園の風致の保全に努めるとともに、整備の推進を図ります。



吉野山公園

レクリエーション機能の核となる近隣公園[※]の整備を検討します。

身近な公園が不足している高屋川左岸の旧市街地では、防災の観点からも公共施設、寺社及び遊休地[※]等を活用した広場など、オープンスペース[※]の整備を検討するとともに、その他管理地、子ども広場及び小中学校等の機能充実を図り、公園の整備量に対する市民の満足度を高めていきます。



堂々公園

既存の公園では、老朽化した施設の再整備、バリアフリー化、多様なニーズの反映及び公園利用サービスの充実を図り、利用度の高い公園づくりを進めます。

災害時に様々な役割を果たす都市公園[※]の適正配置に努めるとともに、広域避難場所の役割を果たしうる公園では、防災機能の充実に努めます。



高屋川

高屋川をはじめとした河川やため池のみどりの保全や親水空間[※]の整備、駅家神辺線を中心とした幹線道路の緑化などを計画的に進め、水とみどりのネットワークづくりに努めます。

▽緑化の推進

高屋川左岸の旧市街地では、歴史的な景観に配慮しながら、ばら花壇を中心とした公共施設の緑化や道路緑化などを推進し、みどりのまちづくりを先導します。



旧市街地（高屋川左岸）の緑

また、民有地においても、ハンギングバスケットやプランターなど、敷地を有効に活用した緑化策を誘導します。

その他の地域においても、公共施設や道路緑化を中心として緑化を推進し、みどりのまちづくりを先導するとともに、各家庭での生け垣化や花壇の設置などを誘導します。

工場などの事業所では、敷地外周を中心とした緑化を積極的に誘導します。



緑化された道路（国道486号）

■方針図_北東地域

